



PART1 ライフステージ別使い方

第1章 ここまで進んだフッ化物応用の考え方

今では、すべての患者さんに不可欠

1. 国の姿勢も進歩してきた
2. 子どもたちのう蝕は減っても守るべき歯は増えている
3. 各ライフステージで変化するう蝕リスクに適切なフッ化物を組み合わせる

**第2章 ライフステージ別う蝕リスクに応じたフッ化物応用ガイド
リスク判定法 + 対処法 + 患者さんへのトーク例**

ライフステージ別う蝕リスクとフッ化物応用の仕方
乳幼児期の子ども
6歳臼歯が生える頃の子ども
小・中学生の子ども
親の手を離れた青少年から若い大人世代
壮年期から高齢期世代

PART2 応用カアツ

第1章 長い年月をかけて実証されてきたフッ化物の働きと効果

1. フッ化物と歯科界との出会いは、今から70年前にさかのぼる
2. フッ化物の局所応用によるう蝕予防のメカニズム
3. フッ化物局所応用の効果と組み合わせ

第2章 歯磨きによる清掃の限界とブラークコントロールの本質

1. 歯ブラシによる清掃の限界
2. ブラークコントロールの本質とは

第3章 年齢や状態に応じた歯磨きとフッ化物応用の方法

1. 年齢に応じた組み合わせ方

第4章 妊娠期・高齢期のフッ化物応用

1. 妊娠期は口腔環境が悪化する条件が増える
2. 高齢期は新たなう蝕リスクが加わる

PART3 チェアサイドテクニック

**第1章 フッ化物液磨きの応用とその代替法
通法のフッ化物応用が難しい場合**

1. フッ化物液磨きの対象とは
2. フッ化物液の作製方法
3. フッ化物液の保管法
4. フッ化物液磨きの仕方
5. フッ化物液磨きの安全性
6. フッ化物液磨きができない場合には…

第2章 フッ化物歯面塗布の方法

1. フッ化物歯面塗布とは、歯の表面に高濃度のフッ化物を直接作用させる手段
2. 塗布術式の歴史の変遷

3. 日本での普及状況
4. フッ化物歯面塗布の安全性
5. フッ化物歯面塗布剤の種類と塗布術式の基本
6. APF・NaF 溶液またはジェルによる一般法（全額）
7. APFジェルとAPFまたはNaFフォームによるトレー法（全額）
8. APFジェルによる歯ブラシ法（全額）
9. 部分塗布法
10. 成人と高齢者への各個トレーによるフッ化物塗布法
11. 初期エナメル質う蝕への医療保険によるフッ化物歯面塗布

第3章 フッ化物配合歯磨剤の使用法

1. 子ども達のう蝕減少に大きく貢献してきたフッ化物配合歯磨剤
2. フッ化物配合歯磨剤の使用開始はいつから？
3. 効果的なフッ化物配合歯磨剤の使用法
4. ダブルブラッシング法
5. フォーム状、ジェル状歯磨剤の利用の仕方
6. 歯間ブラシやタフトブラシなどによるフッ化物配合歯磨剤の利用の仕方
7. 根面う蝕予防のフッ化物配合歯磨剤
8. フッ化物濃度による使い分け

第4章 フッ化物洗口の方法

1. フッ化物洗口剤
2. フッ化物洗口のう蝕予防効果
3. 効果的な使用方法

**第5章 フッ化物徐放性のシーラント、フッ化物バニッシュ、
フッ化ジアンミン銀の利用**

1. フッ化物徐放性シーラント
2. フッ化物バニッシュ
3. フッ化ジアンミン銀

**第6章 チタン製材、ポーセレン、コンポジットレジン、ガラスア
イオノマーへの酸性フッ化物歯面塗布剤使用時の注意**

1. フッ化物を使ってはいけない歯科用材料はどれ？
2. チタンおよびチタン合金とフッ化物応用
3. 酸性のフッ化物と中性のフッ化物を混同しない

**付録 ライフステージ別歯と口の健康管理
患者さん用セルフケアシート
—妊娠期から小中学校まで—**

患者さん用セルフケアシートの目的と使い方
指導者用ライフステージ別セルフケア解説編

1. 妊娠したら始めるお母さんと赤ちゃんの歯と口の健康管理
2. 1歳から3歳にかけての子どもさんの歯と口の健康管理
3. 4歳から6歳臼歯が生える頃の子どもの歯と口の健康管理
4. 少年時代（小中学校）の歯と口の健康管理

患者さん用セルフケアシート（妊娠期から小中学校まで）

現在の患者さんにどんな基準でフッ化物を選び、何を伝えるべきかがすぐわかる！
臨床現場に必要なすべてのノウハウ満載の「フッ化物応用」の決定版！



乳幼児から高齢者まで **すべての患者さんへの
フッ化物活用ガイド**

高濃度フッ化物配合歯磨剤対応版

荒川浩久 著



2017年の発行以来、臨床現場でのフッ化物応用のバイブルとしてロングセラーになった本書の増補改定版です。

増補改訂版では、患者さん指導用ツールとして「ライフステージ別 歯と口の健康管理 患者さん用セルフケアシート—妊娠期から小中学校まで」を新たに追加しました。

一部データや製品を最新情報に変更しています。

ライフステージ別にフッ化物の効果的な使い方がわかる！
基本を理解して応用カアツ！
チェアサイドでの正しい使い方がわかる！

A4判 148ページ 定価 7,700円(税込)
ISBN 978-4-909066-47-3

注文票

品名	定価	冊数
増補改定版 乳幼児から高齢者まで すべての患者さんへの フッ化物活用ガイド	7,700円 (税込)	



インターアクション株式会社

東京都武蔵野市境南町 2-13-1-202
TEL 070-6563-4151 FAX 042-290-2927
http://interaction.jp



著者略歴

- 1977年 神奈川歯科大学卒業
- 2000年 神奈川歯科大学口腔衛生学教授、大学院指導教授
- 2001年 日本口腔衛生学会常任理事（2013年5月まで）
フッ化物応用委員会（現在まで）
- 2009年 厚生労働科学研究「フッ化物応用の総合的研究班」主任研究者（3年間）
- 2009年 ISO/TC106WG4（2012年WG3、2017年WG10）エキスパート（2021年3月まで）
- 2018年 神奈川歯科大学特任教授（現在まで）

増補改訂版出来!

ライフステージ別にフッ化物の効果的な使い方がわかる臨床直結マニュアル



この患者さんにはどのフッ化物？ どんな組み合わせで提案する？

臨床現場の“今すぐ知りたいこと”に本書がすべてお答えします!

ライフステージ別のフッ化物の使い方を知りたい人は

PART1 ライフステージ使い方へ!

各年代別のページを引けば、それぞれのう蝕リスクを踏まえた使い方がひと目でわかる

- ・乳幼児期の子ども
- ・6歳臼歯が生える頃の子ども
- ・小中学生の子ども
- ・青少年から若い大人世代
- ・壮年期から高齢期世代



▶この時期に心配なう蝕リスクがわかる

▶リスクの判定と目標は?

▶何を相手に伝えておく?



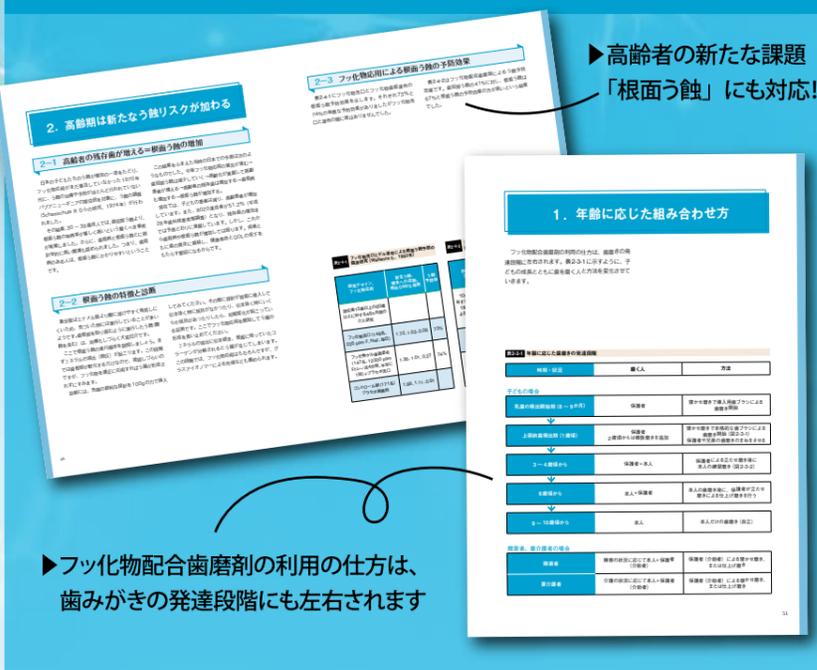
▶必要なプロケアとホームケアは?

▶どんなフッ化物?



さらにブラッシング法とフッ化物の効果的な組み合わせを知りたい人は

PART2 応用カアアップへ



▶高齢者の新たな課題「根面う蝕」にも対応!

▶フッ化物配合歯磨剤の利用の仕方は、歯みがきの発達段階にも左右されます

チェアサイドでのフッ化物応用のノウハウをきちんと学びたい人は

PART3 チェアサイドテクニックへ



▶各術式をマニュアルで提示

増補改訂版では患者さん指導用ツールを追加しました! 切りとって活用できます

ライフステージ別 歯と口の健康管理 患者さん用セルフケアシートを巻末につけました。 年代別にセルフケアシートを選び患者さんに指導し、持ち帰っていただきます。

▶指導者用解説で指導のポイントがつかめます

▶使ったシートは指導後に患者さんにお渡します

